

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 17-009

PDCA	事務事業名	高齢者能力活用推進事業	部課等名	福祉部 高齢介護課 高齢者福祉担当	担当	大岩	
					内線等	376	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第2節 地域福祉の推進					
		基本施策： 2. 高齢者福祉					
		単位施策： (2) 高齢者生きがいの推進					
	根拠法令等	個別施策： ①地域社会への参加の促進					
	対象・目的	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律					
	目的を達成するための手段・活動内容	「退職後も働きたい」「生涯現役でありたい」と願う高齢者を支援し、働く機会を提供することで高齢者の健康の増進と生きがいを図る。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①理事会の開催回数	12	13	14	回	
		②就業件数	4,908	5,038	4,677	回	
		③市報への広報記事の掲載回数	4	2	2	件	
		事業費	7,412	13,224	13,224	千円	
		人件費	635	625	932	千円	
		総事業費	8,047	13,849	14,156	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①就業件数1件当たりのコスト	1.6	2.7	3.1	千円		
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①会員数	実績値	482	497	483	人
			目標値	600	550	550	
		②会員の就業件数	実績値	4,908	5,038	4,677	件
			目標値	5,600	5,500	5,500	
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	C					
		半田市シルバー人材センターは、就労意欲のある高齢者に対しても、サービスを提供される市民に対しても重要な役割を担っている。市主催のイベントでブース出展を行うなど会員数拡大に向けた取り組みを行うも会員数・就業件数ともに減少した。					
		改善推進					
今後の事業の方向性							
A 課題解決のための目標	令和2年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①会員数	550		人		
		②会員の就業件数	5,500		件		